教科目名　国語総合（General Japanese）

学科名・学年　：全学科　２年
単位数など　：必修　２単位　（前期１コマ，後期１コマ，授業時間 46.5 時間）
担当教員　：相本正吾

授業の概要

・現代文(評論文・随想・小説・現代詩・短歌・俳句川柳)及び古文・漢文を読み,その読解・鑑賞・内容に関する文章作成や意見交換を行う．また，日本語表現力の向上に向けて「表現編」として,作文や，発表・討論も行う.
・漢字練習帳やプリントの分を試験範囲とした「漢字・語句の小テスト」を２～３週間ごとに行い，漢字・語句の力を身につける.
・年２回，授業で文学作品や文章の創作を行う「創作大会」を実施する.

達成目標と評価方法　　**大分高専目標（C1）**

(1) 現代文(評論文・随筆・小説・詩・短歌・俳句・川柳)に親しみ，読解や鑑賞の基礎・応用を身につける.(定期試験，提出課題)
(2) 古文・漢文・漢詩の読解の基礎力・応用力を身につける.(定期試験，小テスト)
(3) 文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける.(課題ノート，提出課題，発表)
(4) 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・文芸用語・評論文用語の力をつける.(定期試験,「漢字・語句の小テスト」)

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
			【理解の度合い】
1	現代文(1)	随想(1)の読解.　※，冒頭でガイダンスを行う.	
2	現代文(2)	小説(1)の読解.　近現代日本の小説史(1).	
3	現代文(3)	〃　.　文芸用語(1).	
4	表現(1)	表現の実践(1) ― ＰＲ文の作成、敬語の復習・応用(1)	
5	現代文(4)	詩(1)の読解・鑑賞.　近現代日本の詩史(1).	
6	現代文(5)	評論文(1)の読解.　評論文用語(1).	
7	表現(2)	表現の実践(2) ― ディベート.	
8	前期中間試験		【試験の点数】　点
9	中間試験の解答と解説 現代文(5)	短歌・俳句の読解・鑑賞．近現代日本の短歌俳句史(1).	【理解の度合い】
10	古文(1)	説話を読む.　古文の文法事項(1).	
11	古文(2)	随筆を読む.　日本古典文学史(1).	
12	創作大会(第１回)	創作大会を行う.	
13	漢文(1)	故事を読む.　漢文を読む基礎事項の復習(1).	
14	漢文(2)	漢詩を読む.　漢詩の決まりの復習.	
15	前期期末試験		【試験の点数】　点
	期末試験の解答と解説		
			【理解の度合い】
16	現代文(7)	随想(2)の読解.	
17	現代文(8)	小説(2)の読解.　文芸用語(2).	
18	現代文(9)	〃　.　近現代日本の小説史(2).	
19	表現(3)	表現の実践(3) ― 書簡・礼状等、各文書を書く.	
20	現代文(１０)	評論文(2)の読解.　評論文用語(2).	
21	現代文(１１)	詩(2)の読解・鑑賞.　近現代日本の詩史(2).	
22	表現(4)	表現の実践(4) ― プレゼンテーション.	
23	後期中間試験		【試験の点数】　点
24	中間試験の解答と解説 現代文(１１)	短歌・俳句・川柳の読解・鑑賞.　近現代日本の短歌俳句史(2).	【理解の度合い】
25	古文(3)	詩歌を読む.　日本古典文学史(1).	
26	古文(4)	物語を読む.　日本古典文学史(2).	
27	創作大会(第２回)	創作大会を行う.	
28	漢文(3)	史伝を読む.　漢文を読む基礎事項の復習(2).	
29	漢文(4)	『孟子』を読む.	
30	後期期末試験		【試験の点数】　点
	期末試験の解答と解説		

履修上の注意	授業で用いた種々のプリントは考査の範囲に入れることもあるので,保管しておくこと.	【総合達成度】
教科書	『展開国語総合』，桐原書店(前年度の継続)．課題ノート『整理と演習』，桐原書店(前年度の継続)．『パーフェクト常用漢字』，第一学習社(前年度の継続).	
参考図書	『新総合図説国語』，東京書籍(前年度の継続).	
自学上の注意	課題ノートやプリントを用いて授業の予習復習を心掛けること.	
関連科目	国語総合，現代文	
総合評価	総合評価＝４回の考査の平均点×0.7＋ 課題点(30 点満点)．総合評価が 60 点以上を合格とする．対象者に対して再試験は行う.	【総合評価】　点